

手形

(1) 約束手形

① 約束手形とは？

「約束手形」とは銀行との契約で渡されるもので、この手形に自分で支払期日と金額などを記入して相手に渡して将来の支払いを約束します。勘定科目は「支払手形」(負債)を使用します。受け取った側は、その期日にお金をもらえる権利を入手したことになり、勘定科目は「受取手形」(資産)で処理します。

② 約束手形の仕訳

(例題1) A商店は、商品5,000円を仕入れ、代金として約束手形を振り出した。

仕訳 (借) 仕入 5,000 (貸) 支払手形 5,000

(解説) 約束手形を振り出したA商店を振出人(支払人)と言います。

(例題2) 買掛金2,000円の支払いのために約束手形を振り出した。

仕訳 (借) 買掛金 2,000 (貸) 支払手形 2,000

(例題3) B商店は、A商店から商品代金5,000円を約束手形で受け取った。

仕訳 (借) 受取手形 5,000 (貸) 売上 5,000

(解説) 振出人A商店は、B商店宛てに振り出しなので、B商店のことを名宛人(受取人)と言います。

(例題4) A商店は、手形の決済期日(支払期日)に当座預金を通じて、B商店に手形代金5,000円を支払った。

仕訳 (借) 支払手形 5,000 (貸) 当座預金 5,000

(2) 為替手形

① 為替手形とは？

ここに、3つの商店があるとします。

A商店は、B商店に買掛金があります。(つまりAはBに支払う義務有り)

A商店は、C商店に売掛金があります。(つまりAはCから受取る権利有り)

このような状況の下、まずA商店は「為替手形」をC商店のところに持って行き、B商店に直接支払ってくれとC商店に依頼します。この場合のA商店を「振出人」といい、C商店は名指しされたので「名宛人」と言います。そして、C商店は為替手形に承諾の印鑑を押し、最終的にその手形はB商店に振り出します。このB商店のことを「指図人」と言います。

② 為替手形の仕訳

(例題1) A商店は、B商店に対する買掛金10,000円を支払うために、売掛先であるC商店を名宛人とすることについてC商店の承諾を得て、B商店を指図人とする為替手形(A商店・C商店とも押印済み)をB商店に振り出した。

仕訳

A商店 (借) 買掛金(B向け) 10,000 (貸) 売掛金(C向け) 10,000

B商店 (借) 受取手形 10,000 (貸) 売掛金(A向け) 10,000

C商店 (借) 買掛金(A向け) 10,000 (貸) 支払手形 10,000

(例題2) 上記手形代金10,000円が満期日(支払期日到来)に当座預金を通じて決済された。

仕訳

A商店 仕訳なし

B商店 (借) 当座預金 10,000 (貸) 受取手形 10,000

(3) 手形の割引

① 手形の割引とは？

例えば今日 6/1 に約束手形 1,000 を受け取り、その満期日が 2 ヶ月後の 8 月 1 日だとします。しかし、現金化まで 2 ヶ月は長いという考えを持つ会社もあるはずですが。そういう場合に、自社の取引銀行が承諾すればその手形を買い取ってもらうことができます。ただし、2 ヶ月分の利息相当額の手数料が取られます。この一連の行為を「手形の割引き又は割引手形」と言います。

② 割引手形の仕訳

(例題 1) 約束手形 1,000 円を銀行で割り引き、割引料 200 円を差し引かれた残額を当座預金とした。

仕訳 (借) 当座預金 800 (貸) 受取手形 1,000
(借) 手形売却損 200

(解説) 約束手形を現金化するために利息相当額の割引料を支払って銀行に売却したので、その割引料相当額は「手形売却損」(費用) で処理します。

(例題 2) 約束手形 5,000 を銀行で割り引き、割引料を差し引いた残額を当座預金とした。なお、割引日数は 60 日で割引率は年 7.3% である。

仕訳 (借) 当座預金 4,940 (貸) 受取手形 5,000
(借) 手形売却損 60

(解説) 割引料 (利息相当) の計算方法

$$5,000 \times 7.3\% \times \frac{60 \text{日}}{365 \text{日}} = 60$$

(4) 手形の裏書譲渡

① 手形の裏書譲渡とは？

上記(3)で手形の割引きをご説明致しましたが、もう1つ「**手形の裏書譲渡**」という方法があります。手形の割引きは銀行に売却することで現金化しましたが、手形の裏書譲渡は、その名のとおり手形の裏面に署名捺印を押す欄があるので、そこに署名捺印をして支払いに充てます。つまり、手形はA商店(振出人)→B商店(受取人)→B商店(裏書人)→C商店(受取人)と流れていきます。

② 手形の裏書譲渡の仕訳

(例題1) B商店は商品10,000円をC商店から仕入れ、その代金としてA商店から受け取っていた手形を裏書譲渡した。BとCの仕訳は？

仕訳(B商店)	(借)仕入 10,000	(貸)受取手形 10,000
(C商店)	(借)受取手形 10,000	(貸)売上 10,000